

平成28年度 幸保育園 第三者評価シート

通番	評価番号	評価対象	判断基準				コメント
			優良	良	可	不可	
1	I 1-1	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準に基づいて運営されている	優良	良	可	不可	判断基準適合
2	I 1-2	職員配置は条例にしたがい適正に配置されている	優良	良	可	不可	適正数配置
3	I 1-3	調理員は条例にしたがい適正に配置されている	優良	良	可	不可	適正数配置の他栄養士・看護師常駐
4	I 1-4	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮し作成されている	優良	良	可	不可	概ね良好であるが研鑽されたい
5	I 1-5	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	優良	良	可	不可	指導計画会議の会議録確認
6	I 2-6	一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	優良	良	可	不可	計画書確認
7	I 2-7	一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている	優良	良	可	不可	計画書と報告書、合議確認
8	I 2-8	一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じ開催している	優良	良	可	不可	概ね良好であるが充実されたい
9	I 2-9	登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状況に応じて実施している	優良	良	可	不可	書類確認
10	I 2-10	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	優良	良	可	不可	発育カード・身体状況記録簿確認
11	I 2-11	感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している	優良	良	可	不可	マニュアルや掲示文確認
12	I 3-12	専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている	優良	良	可	不可	給食・おやつ等で配慮
13	I 3-13	日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている	優良	良	可	不可	当日の献立を提示する等の配慮がある
14	I 4-14	食事を楽しむことができる工夫をしている	優良	良	可	不可	パターンの変化と園内菜園の取り組みがある
15	I 4-15	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	優良	良	可	不可	園庭の遮光ネットは他に類を見ない
16	I 4-16	生活の場に相応しい環境とする取組を行っている	優良	良	可	不可	清掃等を励行
17	I 4-17	子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている	優良	良	可	不可	判断基準適合
18	I 4-18	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している	優良	良	可	不可	〃
19	I 4-19	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	優良	良	可	不可	〃
20	I 4-20	身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている	優良	良	可	不可	園外活動や他園との交流がある
21	I 4-21	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	優良	良	可	不可	園独自の情操指導がされている
22	I 4-22	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している	優良	良	可	不可	判断基準適合
23	I 4-23	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	優良	良	可	不可	〃
24	I 4-24	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	優良	良	可	不可	〃
25	II 1-1	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	優良	良	可	不可	〃
26	II 1-2	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	優良	良	可	不可	〃
27	II 1-3	障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	優良	良	可	不可	加配制度を活用し対応できている
28	II 1-4	一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている	優良	良	可	不可	記録簿確認
29	II 1-5	家庭の状況や保護者との情報交換が必要に応じて記録されている	優良	良	可	不可	〃
30	II 2-6	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	優良	良	可	不可	保育日誌・相談記録簿確認
31	II 3-7	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている	優良	良	可	不可	〃
32	II 3-8	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	優良	良	可	不可	行政等との連携あり
33	III 1-1	多様な子育てニーズを把握するための取組を行い、それを事業に反映している	優良	良	可	不可	概ね良好であるが充実されたい

34	Ⅲ 1-2	育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている	優良	良	可	不可	支援センター、スマイルサポーター設置
35	Ⅲ 1-3	一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	優良	良	可	不可	判断基準適合
36	Ⅲ 1-4	保育園の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している	優良	良	可	不可	〃
37	Ⅲ 1-5	子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている	優良	良	可	不可	〃
38	Ⅲ 1-6	育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている	優良	良	可	不可	〃
39	Ⅲ 1-7	小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある	優良	良	可	不可	園児の交流や意見交換会が活発
40	Ⅲ 1-8	民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている	優良	良	可	不可	取り組みは評価できるがさらなる連携を図りたい
41	Ⅲ 2-9	近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている	優良	良	可	不可	現状は理解できるが研鑽されたい
42	Ⅳ 1-1	中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている	優良	良	可	不可	判断基準適合
43	Ⅳ 1-2	実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている	優良	良	可	不可	〃
44	Ⅳ 2-3	ボランティアを受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている	優良	良	可	不可	〃
45	Ⅳ 2-4	保育園の保育理念及び基本方針が明文化されている	優良	良	可	不可	HP等で公表
46	Ⅳ 2-5	保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行っている	優良	良	可	不可	〃
47	Ⅳ 3-6	保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている	優良	良	可	不可	公開保育や職員会議で議論
48	Ⅳ 4-7	保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている	優良	良	可	不可	評価書確認
49	Ⅳ 4-8	職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している	優良	良	可	不可	研修会の参加確認
50	Ⅳ 5-9	守秘義務の遵守を周知している	優良	良	可	不可	職員へのさらなる周知を図りたい
51	Ⅳ 5-10	情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている	優良	良	可	不可	判断基準適合
52	Ⅳ 5-11	保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している	優良	良	可	不可	〃
53	Ⅳ 5-12	事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	優良	良	可	不可	マニュアル確認
54	Ⅳ 5-13	事故防止のための具体的な取り組みを行っている	優良	良	可	不可	施設等の定期点検実施
55	Ⅳ 5-14	調理場、水回りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	優良	良	可	不可	専門家の指導の元、実施

第三者評価について

本年度は昨年に引き続き2回目の評価でしたが、最近、保育所を巡る不祥事が多発し、理事や園長、職員の資質が問われる中、平成29年3月10日 社会福祉法人和泉幸生会幸保育園において、関係理事、園長、職員に第三者評価を実施しました。評価項目対象や評価結果については上記のとおりですが、それ以外に園関係者の保育に対する考え方や方針、責任感等々をヒアリングしたところ、当保育園は総体的に優良な運営がなされていることが確認されました。次年度から認定こども園として新たな制度下での運営となりますが、地域の子育て支援の拠点としてさらなるご尽力とご研鑽をお願いします。

平成29年 3月 31日

第三者評価者 和泉市前こども部長 木下 俊次